

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

道府県・政令市名【石川県・七尾市】

1 実践テーマ	【Vスポーツに対する興味・関心の向上，スポーツを楽しむ心の育成】
2 実施対象者	七尾市立和倉小学校 1年生19人，2年生25人，3年生15人，4年生23人 5年生16人，6年生17人，なかよし学級3人，わかば学級3人 計121人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ①教科名 ( 体育 ) ②行事名 ( 校内マラソン大会 ) ③その他 ( ) (2) 地域における活動 ①イベント名 ( ) ②その他 ( )
4 目標 (ねらい)	オリンピックである赤羽さんから教えてもらった走り方を生かし，すすくマラソンとマラソン大会で限界にチャレンジし，自分の目標を超え，自己ベストを更新できるように努力する。
5 取組内容	<p style="text-align: center;"><b>わくリンピック2017 マラソン大会</b> ～限界突破を目指して ようい ドン!～</p> <p>1. 体育の時間と長休みすすくマラソンで持久走の学習に取り組む</p> <p>2. マラソン大会までに，各学年に応じた距離（低学年800m，中学年1000m，高学年1500m）を走り，タイムを計測して記録しておく。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="568 1626 794 1944"> <p>(1,2,3年生用)</p> </div> <div data-bbox="1099 1375 1358 1550"> </div> <div data-bbox="967 1626 1193 1944"> <p>(4,5,6年生用)</p> </div> </div>

3. マラソン大会では、自己ベストを目標タイムとし、そのタイムを超えるように努力する。



4. 各学年男女別に1位は金メダル、2位は銀メダル、3位は銅メダルを授与する。また、自己ベストを更新した児童には『限界突破メダルシール』、惜しくも更新できなかった児童には『限界チャレンジメダルシール』を記録証と共に授与する。



『限界突破メダルシール』



『限界チャレンジメダルシール』

6 主な成果

オリンピックの赤羽さんから指導していただいた三つのポイント①手は生卵を握るように優しく握る②うではひじを曲げ、伸ばさないようにしてふる③目は足元ではなく、前を見る(1,2,3年)③お尻の筋肉を使って走る(4,5,6年)を意識して走るように声かけをして、練習に取り組むことができた。また、大会では、順位だけでなく、自己ベストを目指してがんばる姿や、友だちと励ましあい、協同して活動する様子が見られた。

7 実践において工夫した点(事業の特色)

東京オリンピックのコンセプトの1つである「全員が自己ベスト」を意識してこの事業を展開した。オリンピックとの交流を生かして取り組めるようにした。和倉温泉のキャラクターであるわくたま君をデザインに取り入れて、メダルを作った。

8 主な課題等

残念ながら自己ベストが出なかった児童が何人かいた。その児童にも

	チャレンジメダルシールを渡したが、少し悲しそうであった。目標の設定の仕方などに工夫の余地がまだあるので、全員が自己ベストを出せるようにしたい。
9 来年以降の 実施予定	児童は自己ベストを超えるという目標を持って取り組めたので、来年も継続して行なう予定である。